

6年生の漢字



181字

数字ははげみの番号

89	優 <small>ヨウ</small>	88	暮 <small>モ</small>	87	俳 <small>ハイ</small>	86	討 <small>トウ</small>	85	誕 <small>タン</small>	84	奏 <small>ソウ</small>	83	仁 <small>ニ</small>	82	縮 <small>シュク</small>	81	誌 <small>シ</small>	80	困 <small>クワン</small>	79	嚴 <small>エン</small>	78	郷 <small>キョウ</small>	77	株 <small>ケ</small>	76	異 <small>イ</small>
幼	宝	班	党	段	窓	垂	窓	熟	磁	己	勤	干	遺														
欲	訪	晚	糖	暖	創	推	創	純	射	呼	筋	卷	域														
翌	亡	否	届	值	装	寸	層	処	捨	誤	系	看	宇														
乱	忘	批	届	宙	層	盛	操	署	尺	后	敬	簡	映														
卵	棒	秘	乳	忠	操	聖	藏	諸	若	孝	警	危	延														
覽	枚	腹	認	著	藏	誠	臟	除	樹	皇	劇	机	沿														
裏	幕	奮	納	庁	臟	宣	存	將	収	紅	激	揮	我														
律	密	並	腦	頂	存	專	尊	傷	宗	降	穴	貴	灰														
臨	盟	陛	派	潮	尊	泉	尊	障	就	鋼	絹	疑	抃														
朗	模	閉	派	賃	宅	洗	宅	城	衆	刻	樞	吸	革														
論	讞	片	拜	賃	担	染	担	蒸	衆	穀	憲	供	閣														
	郵	補	肺	展	探	善	探	針	縱	骨	源	胸	割														

●漢字についての話 その3

☆ 漢字には二通りの読み方がある。一つは、音読みといって、中国の発音に近い読み方であり、もう一つは訓読みといって、わが国のことばを漢字にあてはめた読み方である。漢字は、もともと中国でつくられたもので、日本語が独自にもっている味わいをそのまま表すためには、どうしても訓読みも必要であったのである。このように、音読みと訓読みが平行して行われた結果、じゆく語を讀むばあい、つぎの四通りの読み方が生まれた。

1 ㊦ + ㊧ ……上も音、下も音。

(例) 都市 世界 選挙 投票 学問

2 ㊦ + ㊨ ……上も訓、下も訓。

(例) 青空 組合 野原 花火 切手

3 ㊦ + ㊩ ……上が音、下が訓。「重箱」の重は音読み、箱は訓読みであるところから、これを

「重箱読み」という。

(例) 王様 先手 毎朝 台所 番組

4 ㊦ + ㊪ ……上が訓、下が音。「湯桶」の湯は訓読み、桶は音読みであるところから、これを

「湯桶読み」という。

(例) 湯気 雨具 見本 古本 合図

「重箱読み」や「湯桶読み」は数からすればそれほど多くはないが、右にあげた以外にもいろいろな例がある。集めてみよう。

り	門	革	才	火	戈	彳	廾	日	宀	土	辶	田	部首
割	閣	革	扞	灰	我	浴	延	映	宇	域	遺	異	漢字
わり・わる・われる	カク	カク	カク	はい	われ	そろ エン	エン のびる・のべる・のぼす	うつる エイ うつす	ウ	イキ	イ	イ こと	読み方
、ハハハ中中中害害害割	丨丨丨丨門門門門閉閉閉閉閣	一十廿廿廿廿廿廿廿革	一才才才扞扞扞扞	一厂厂厂灰	ノニ千千我我我	、ニシシハ浴浴浴	一十十正正延延延	丨丨丨日日日映映映	、ハハハ宇	一十十土土土域域域	丨丨丨辶辶辶貴貴貴遺遺遺	丨丨丨田田田里里里異異異	筆順
割高 わりだか	内閣 ないかく 天守閣 てんしゅかく	革命 かくめい 改革 かいかく	拡大 かくだい 拡張 かくちやう	灰色 はいいろ 火山灰 かざんばい	我ながら われながら 我知らず われしらず	沿岸 えんがん 浴線 えんせん	延長 えんちやう 順延 じゆんえん	映画 えいが 反映 はんえい	宇 う ちゅう	流域 りゆういき 地域 ちいき	遺産 いさん	異議 いぎ 異常 いじやう	使 い 方 ほう

- 1 事態が発生した。提案に を唱える。
- 2 文化 として大切な仏像。
- 3 この は日本の政治の中心地だ。境川 の植物。
- 4 ちゆうにうかんでいる地球。
- 5 を見に行きませんか。雲のかけが地上に っている。ぼくの意見が された。
- 6 録音時間が大はばに された。野球の試合は雨天のため された。
- 7 南極大陸の を航行する船。国鉄 の地区。
- 8 まちがったことを言って、 ながらもはずかしい。美しい花に、 らず足をとめた。
- 9 村は冬、 の雲におおわれる。山がふん火して、 が積もった。
- 10 けんび鏡で して見る。商売を する。
- 11 いろいろ制度が された。産業 のことを学習した。
- 12 総理大臣が任命される。 からのながめはすばらしい。
- 13 この品物は、 である。しよぼん玉が れてしまった。

月	イ	ロ	疋	貝	才	キ	尸	竹	目	尸	干	キ
胸	供	吸	疑	貴	揮	机	危	簡	看	卷	干	株
むね キヨウ ウ	キヨウ ども・そなえる	キヨウ すろ	ギ うたがろ	キ	キ	つくえ	キ あぶない	カン	カン	カン まく・まき	カン ほす	かぶ
月月月胸胸胸	ノイ仁什什供供	一口口吸吸	一ヒトヒト疑疑疑疑	一一口中貴貴貴貴	一才才揮揮揮揮	一才才机机	ノクク危危	ノ竹竹竹竹竹竹竹竹	一二三看看看看	一ソソ卷卷卷卷	一二干	一才才株株株株
胸囲 度胸	提供 供給	吸しゆう 吸物	疑問 容疑	貴重 貴金屬	指揮 發揮	机上	危害 危険	簡單 簡潔	看病 看護	卷末 十卷	干害 干満	株式 切り株

14 高い□^{たかい}り□^{かぶ}の上に飛び上がる。□^{かいしゃ}会社の社長になる。

15 今日(けふ)はしおの□^{かんまん}の差(さ)が少ない日(ひ)だ。ふとんを□^はす。

□^{かんがい}を防(か)ぐための愛知(あいち)用水(みづ)。

16 本の□^{かんまつ}にあるさく引(ひき)。全(ぜん)□^{じつかん}のシリーズ。手(て)□^まきずしを食べ(た)べる。

□^{かんご}のかいがあつて姉(あね)は回復(かいふ)した。母(はは)の□^{かんがせ}をした。

□^{かんけつ}な言葉(ことば)で表(あらわ)されるはい句(く)。□^{かんたん}な料理(りょうり)。

□^{きけん}な通学路(つうがくじろ)。動物(どうぶつ)に□^{きがい}を加(く)えない。

20 □^{つぐえ}の□^{うえ}に置(お)かれた一(いっ)さつの本(ほん)。夜(よ)の二(に)時(じ)、三(さん)時(じ)まで□^{つぐえ}に向(む)かつた。

21 大きな力(ちから)を□^{はつき}する原子力(げんじりき)発電所(はつでんじょ)。ファンファーレバンドの□^し□^きをした。

22 ほう石(ほういし)や□^{きんぞく}を身(み)に付(つ)ける。□^{さしやう}な資料(しりょう)が見つ(み)つかった。

23 □^{ぎもん}に思(おも)つたらすぐ(すぐ)にたずねよう。犯人(とら)の□^{ようざ}をかけられた。

24 新(あたら)しい知識(ちしき)をどんどん□^{まじ}しゅうする。調理(ちようり)実習(じしゆ)で□^{すいもの}を作(つく)つた。

25 実験室(じけんしつ)として□^{ていしきやう}してくれ(くれ)た部屋(へや)。食料(じきりょう)を□^{まよもちやう}する。

先生(せんせい)のお□^{とも}をしてアメリカ(アメリカ)へ行(い)く。

26 身体検査(しんたいけんさ)で□^{きやうがい}をはか(は)かる。喜(よろこ)びで□^{ひね}が(が)いっばい(いっばい)になる。ぶ台(ぶたい)で歌(うた)うとは、□^ど□^{きやう}が(が)いい。

ジ	心	キ	糸	穴	シ	リ	言	文	系	筋	力	郷
源	憲	権	絹	穴	激	劇	警	敬	系	筋	勤	郷
ゲン みなもと	ケン	ケン	きぬ	あな	ゲキ はげしい	ゲキ	ケイ	ケイ うやまう	ケイ	キン すじ	キン つとめる	キョウ
源 源 源 源 源 源 源 源	憲 憲 憲 憲 憲 憲 憲 憲	権 権 権 権 権 権 権 権	絹 絹 絹 絹 絹 絹 絹 絹	穴 穴 穴 穴 穴 穴 穴 穴	激 激 激 激 激 激 激 激	劇 劇 劇 劇 劇 劇 劇 劇	警 警 警 警 警 警 警 警	敬 敬 敬 敬 敬 敬 敬 敬	系 系 系 系 系 系 系 系	筋 筋 筋 筋 筋 筋 筋 筋	勤 勤 勤 勤 勤 勤 勤 勤	郷 郷 郷 郷 郷 郷 郷 郷
資源 源流	憲章 憲法	権利 権限	絹糸	たて穴式住居	感激 激動	劇場 悲劇	警官 警察	敬意 そん敬	系図 家系	血筋 鉄筋	勤勞 通勤	郷土 故郷

- 27 生まれのなつかしいすがた。の地図を作る。
- 28 の人たちでバスがこむ。ばく府の役所にめる。の精神が大切だ。
- 29 コンクリートの新しい建物。武士のであることが分かった。
- 30 昔からのを調べて、そのを作った。
- 31 そんなする人に、をこめて手紙を書く。相手をつて言うときの言葉。
- 32 しよを見学する。が交通整理をしている。
- 33 国立ではが上演されている。
- 34 しい風がふく。今年はの年であった。親からの手紙にした。
- 35 大昔のたてのあと。
- 36 でぬう。のように美しい金色のかみ。
- 37 人間には幸福を求めるがある。議長の。
- 38 記念日を祝う。東浦町民が出された。
- 39 国内で得られるを利用する。文明のをさぐる。境川のを調べへる。

骨	手	リ	多	降	糸	白	子	口	言	。呼	己	巖
骨	穀	刻	鋼	降	紅	皇	孝	后	誤	呼	己	巖
ほね コツ	コク	キコク コク	コウ	コウ おりる・おろす・ふる	ベに コウ	コウ・オウ	コウ	コウ	あやまる ゴ	よぶ コ	コ	ゲン きびしい
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 骨 骨 骨	一 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 穀 穀 穀 穀	一 十 十 十 十 十 十 刻 刻 刻 刻	一 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 鋼 鋼 鋼 鋼 鋼	一 十 十 十 十 十 十 十 十 降 降 降 降 降	一 十 十 十 十 十 十 十 十 紅 紅 紅	一 十 十 十 十 十 十 皇 皇 皇	一 十 十 十 十 十 孝 孝 孝	一 十 十 十 十 十 后 后 后 后	一 十 十 十 十 十 言 言 言 言 言 言 言 言 言 言 誤 誤 誤	一 十 十 十 十 十 呼 呼 呼 呼	一 十 十 十 十 十 己 己	一 十 十 十 十 十 巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖
骨折 骨格	穀物 雑穀	時刻 先刻	鋼鉄	降雨量 下降	紅白 紅茶	皇室 天皇	孝行	皇后	誤差 誤解	呼吸 呼応	自己 利己的	嚴重 嚴守

- 40 正倉院のほう庫は□□に守られてきた。集合時間を□□する。
- 41 □□しく□□反省をする。□□□□な考え。
- 42 動物も植物も□□している。友達をニックネームで□□ぶ。この表と□□している。
- 43 □□を受けける行動をとった。少しの□□はみとめる。
- 44 □□からおくられた旗。
- 45 どこに住もうと親□□はできる。
- 46 □□の方を敬って言う特別の敬語。□□たん生日。
- 47 □□を飲む。大みそかに、家族そろって□□歌合戦を見る。
- 48 □□しようにがのように赤い。
- 48 □□□□によって地図を色分けする。定期バスは客を□□ろした。
- 49 ちらちら小雪が□□ってくる。エレベーターが□□した。
- 49 □□製の直方体の箱を造る。
- 50 下校□□□□を守るための方法を話し合う。銅板に□□んだ労働者の群像。お客は□□お帰りです。
- 51 □□□□に関係した本をさがす。□□を動物のえきにした。
- 52 □□のたくましい体そのの選手。固すぎて巻くのに□□が折れる布。足を□□した。

見	女	禾	至	虫	冂	策	衣	濟	座	石	口
視	姿	私	至	蚕	冊	策	裁	濟	座	砂	困
シ	シ すがた	シ わたくし	シ いたる	サン かいこ	サツ	サク	サイ さばく	サイ すむ・すます	ザ	サ すな	コン こまる
シ 言言言言言言	シ ネネ	シ 次次	至 禾禾私私	蚕 天夭吞吞蚕蚕	冊 冊冊冊	策 策策策策策策策策	裁 裁裁裁裁裁裁裁裁裁	濟 濟濟濟濟濟濟濟濟濟	座 座座座座座座座座座	砂 砂砂砂砂砂砂砂砂砂	困 困困困困困困困困困
歌詞 名詞	視力 視線	容姿 姿勢	公私 私立	至急 冬至	養蚕	冊数 別冊	策略 对策	裁判 裁断	救済 経済	座高 座席	砂ばく 困なん 貧困

- 53 なんな問題にぶつかつた。母はだいぶつたような顔だ。奈良時代の農民はだった。
- 54 ばくにも発電所ができる。 で山を作つた。
- 55 そうじゆう士の にすわつてみた。 を測つた。
- 56 お金のことを中心とした 学。この問題は解決みです。 の手を差し延べる。
- 57 主人の道理のある にしたがう。 所へ出かける。
- 58 火事になつたときの を考えた。 をめぐらした。
- 59 ラーニングの本の を調べる。 を本屋に買いに行く。
- 60 副業の で休むひまもない。今、 の世話で大変です。
- 61 代金を お送りください。公園の 所にさく花。 にかぼちやを食べる。
- 62 の別をはつきりさせる。 事を後にして人々につくす。 の学校に入学する。
- 63 きびきびした動作、りっぱな。人の を見失う。 も心も美しい人。
- 64 まどの外へ を投げる。 検査を受ける。
- 65 ものの名前を表す言葉を という。 カードを作る。

縦	従	衆	就	宗	収	樹	若	尺	捨	射	磁	誌
たて ジユウ	したがう ジユウ	シユウ	シユウ	シユウ	おさめる シユウ	ジュ わかい		シヤク すてる	シヤ いる	シヤ	ジ	シ
縦 縦断 縦書き	従業員 服従	群衆 合衆国	就職 就任	宗教	収入 回収	樹木 果樹園	若葉	六尺 しゆく尺	四捨五入	反射 発射	磁石 とう磁器	日誌 雜誌
い い い い い い い い い い い い い	い い い い い い い い い い い い い	い い い い い い い い い い い い い	い い い い い い い い い い い い い	い い い い い い い い い い い い い	い い い い い い い い い い い い い	い い い い い い い い い い い い い	い い い い い い い い い い い い い	い い い い い い い い い い い い い	い い い い い い い い い い い い い	い い い い い い い い い い い い い	い い い い い い い い い い い い	い い い い い い い い い い い い

- 66 から参考になる記事をさがす。学級 を書いた。
- 67 の周りに引き寄せられた砂鉄。とう の茶わんを買う。
- 68 その矢的を する。光が する。ロケットを した。
- 69 吸いがらを てる場所がない。算数で について学習した。
- 70 スギのたけは ぐらいある。一万分の一にしゆく した地図。
- 71 の美しい季節。番号の 順にならぶ。
- 72 を大切に育てる。 を経営する。
- 73 海の仕事で を得ている人々。はい品 は、土曜日の午後にあります。
- 74 新しい が外国から入ってきた。
- 75 会社に した。大統領に する。
- 76 ストウ夫人はアメリカ の小説家です。 の中で声が上がった。
- 77 兄はガラス工場の だ。世の習わしに う。父の教えに する。
- 78 日本列島を する計画を練る。平安京は、 に道がつくられた。 きの文章。

針	蒸	城	障	傷	將	除	諸	署	処	純	熟	縮
はり シン	ジョウ ウ しろ	ジョウ ウ	ショウ ウ	ショウ ウ キズ	ショウ ウ	ショウ ウ のぞく	ショ	ショ	ショ	ジュン	ジュク	シユク ちぢむ・ちぢまる
ノ ハ ム 金 金 金 針	一 十 十 サ サ 茅 茅 蒸 蒸 蒸 蒸	一 十 十 カ カ 坊 城 城 城	ア ア ア 障 障 障 障 障 障 障	ノ イ イ イ 傷 傷 傷 傷 傷 傷	一 一 一 将 将 将 将 将 将	ア ア ア 除 除 除 除 除 除	ノ ニ ニ ニ 諸 諸 諸 諸 諸 諸	一 一 一 署 署 署 署 署 署	ノ ク 久 久 久	ノ ニ ニ ニ 純 純 純 純 純 純	一 一 一 熟 熟 熟 熟 熟 熟	ノ ニ ニ ニ 縮 縮 縮 縮 縮 縮
方針 針金	蒸気 蒸発	城主 古城	障子 故障	傷害 重傷	将来 主将	解除 除外	諸国 諸説	署名 警察署	処理 対処	純白 純毛	熟練 未熟	縮図 短縮

- 79 実験にかかる日数をする。こわくてみ上がってしまった。百分の一の。
- 80 よくしたやまなしの実。工になる。あの子は者だ。
- 81 みごとなのたんちようづる。のセーターを買った。
- 82 放射能にするための方策。事件をすみやかにする。
- 83 の前からバスに乗った。文書にする。
- 84 西洋と広く深く交わる。邪馬台国がどこにあったかは、がある。
- 85 むだなことはする。わずかな人々をけばみな反対だ。大雨警報がされた。
- 86 のみんなの姿を思いうかべる。野球部のを選ぶ。
- 87 を負い、病院にかつきこまれた兵士。かたのはだいじょうぶですか。
- 88 相手の気持ちをつける発言はよそう。相手にを負わせる。
- 89 が多く、思うにまかせない機械。破れたをはりかえる。
- 90 こけむしたに風がわたる。リヤ王は長女のをおとずれた。大名はである。
- 91 水の小さなつぶはしやすい。機関車。
- それまでのを変える。を巻き付ける。

104 103 102 101 100 99 98 97 96 95 94 93 92

□□を備えたりっぱな人。□□の心をもった人。

けん□□はちよっとしかできない。ゆかとかべの面は□□に交わる。

地下のウラン量を□□する。犯人のゆくえを□□する。

□□を割り出すのに手間どる。□□を演じる。

ご飯の□□り。スポーツ祭が□□り上がる。

□□な裁判を行う。オリンピックの□□りレー。

□□をもってお仕えます。□□な人から。

どれい解放を□□したリンカーン。新聞広告で□□する。

□□の手によって整理された宝物でん。子供□□のプール。

ダムと□□をめぐる旅行。光の満ちあふれた□□のほどり。

□□されたマナーで応対する。くつをぬいで、足を□□った。□□便所。

京都で□□め□□を買う。湖が入り日に赤く□□まった。

大勢の名もない人々の□□。悪いところを□□する。

- 117 116 115 114 113 112 111 110 109 108 107 106 105
- 静かにの始まるのを待っていました。ピアノとギターでをする。
- 小学校の会を開く。の景色を楽しむ。
- 文化を伝えたりしたりする。的な考えを発表する。
- この工場は近代的なを整えている。アイゼンをして山へ出かける。
- 海底はヘドロというどろ土だ。古いの中から化石が発見された。にある雲。
- 先生はがじょうずです。機械をする。
- 石炭のをする。本には、印がおしてある。つつた魚をして持ち帰る。
- がどきどきする。魚のを出す。
- ラジウムのを発表したキュリー夫妻。文化財をいつまでもする。
- 祖国の言葉をし、守る。緑はイスラム教徒のぶ色である。な態度。
- 新しいが建ちならぶ。山を切り開いてにする。
- して報告の文章を書いた。放送局の仕事をする。
- ジャングルをしているような感じ。落し物をす。
- 宇ちゅうのなぞをする。

尸	尸	貝	シ	頁	尸	一	心	一	イ	日	爻	言
展	痛	賃	潮	頂	庁	著	忠	宙	値	暖	段	誕
テン	ツウ いたむ・いためる	チン	チヨウ しお	チヨウ いたたく・いたたき	チヨウ	チヨ	チユウ	チユウ	チ ね	ダン あたたかい・あたためる	ダン	タン
尸尸尸尸尸展	尸尸尸尸痛痛痛	ノイ任任任任賃賃賃賃賃	シシシシシ潮潮潮潮潮	一丁丁丁丁頂頂頂頂頂	一尸尸尸	一々々々々著著著著著	一口口中忠忠忠	一六六六宙宙宙宙	ノイ任任任任値値値値値	一日日日暖暖暖暖	一尸尸尸段段段	一々々々言言言言誕誕誕誕
展望台 発展	痛切 苦痛	家賃 賃金	満潮 風潮	頂上 山頂	官庁 県庁	著名 著者	忠告 忠実	宇宙飛行士	価値 値段 数値	暖流 温暖	階段 手段	誕生日 生誕

わたしの□□が近づいてきた。キリストの□□祭は、クリスマスだ。
 軽やかに□□を上げる足音が聞こえた。正しい□□で目的を果たす。

四季を通じて□□な風土。寒い日を□□かく過ごす。

たき火をして体を□□める。海流には、□□と寒流がある。

正しい□□を発表する。小型で□□の安い原動機。

人の□□は心で決まる。

ぼくの夢は□□□□になることだ。

計画したことを□□に実行する。先生の□□を聞く。

□□な科学者。ごんぎつねの□□は新美南吉です。

国の□□をおとずれる。愛知県□□は、名古屋市にある。

山の□□にかかる銀色の月。富士□□に立つ。□□をめぐりて登る。

午前中の□□時に出航する。物をそまつにする□□がある。

いつも月末に□□をおさめる。□□が安い。

持病で□□む足をさすりながら歩いた。けが人が□□をうったえる。

この教えが□□に身にしみた。

□□□□から町をながめる。東浦町は□□した。

月	月	才	シ	月	糸	言	し	難	尸	半	儿	言
肺	背	拜	派	脳	納	認	乳	難	届	糖	党	討
ハイ	ハイ せ・せい	ハイ おがむ	ハ	ノウ おさめる・おさまる	ノウ おさめる	みとめる	ニユウ ちち	ナン むずかしい	とどく・とどける	トウ	トウ	トウ
月月月肺肺肺	一才才北北背背	一才才打打打拜	ハシシシ派派派	月月月月脳脳脳	くくく糸糸糸納納納	言言言言言言認認認認認認	一乳乳乳乳乳乳	一難難難難難難難難難難	尸尸尸届届届	半半半半半半糖糖糖糖糖糖	儿儿儿党党党	言言言言言言言言言言言言討討討
肺えん 肺活量	背景 背骨	拜見 参拜	派手 派けん	首脳部 頭脳	納入 納品	認め印	牛乳 乳児	難問 困難	欠席届	糖分 砂糖	政党 野党	討ろん 検討

143 142 141 140 139

138 137 136 135 134 133 132 131

ろんに移ることにします。の結果、計画を練り直す。

政治。に反対された。

の製造工場を見学した。はちみつのは健康によい。

村長あての小包が一ついた。を出す。

な海底トンネルの工事。はげみのを解いた。

配達で足をきたえた若者。おいしそくにを飲む赤ちゃん。かわいい。

作曲の才能があることをめられた。書類にめをおす。

税金の時期がさまっている。期日に、する。

独立国活動費をめる。

の決意は固かった。のするどい働き。

国境に大勢の兵隊をけんした。にお金を使う。

ありがたくいたします。仏様をむように手を合わせていた。神社にする。

建物をに、写真をとる。が痛む。

酸のためにのどやを痛めた。えんのため高熱が出た。を測る。

キ	片	門	陛	並	大	月	秘	批	否	日	班	俳
補	片	閉	陛	並	奮	腹	秘	批	否	晚	班	俳
ホ おきなう	かた	へい とじる・しめる	へい なみ・ならびに ならぶ・ならべる	ふる う	フン はら	フク はら	ヒ	ヒ	ヒ	バン	ハン	ハイ
ネネネネ 補補補補	片片片片	閉閉閉閉 閉閉閉閉	陛陛陛陛 陛陛陛陛	並並並並	奮奮奮奮 奮奮奮奮	腹腹腹腹 腹腹腹腹	秘秘秘秘 秘秘秘秘	批批批批 批批批批	否否否否 否否否否	日晚日晚 日晚日晚	班班班班 班班班班	俳俳俳俳 俳俳俳俳
補強 補助	片手 片道	開閉 閉会	天皇陛下	並木 足並	奮戰 興奮	空腹 中腹	神秘 秘みつ	批判 批評	否決 安否	晚秋 每晚	班長 特別班	俳句 俳ゆう

156 155 154 153 152 151 150 149 148 147 146 145 144

□□を刻んだ石ひが立っている。映画□□ゆうになりたい。

校内をきれいにする□□。通学団の□□に選ばれた。

□□子もり歌を歌ってくれた母。□□の空はすんで気持ちよい。

提案の多くは□□されてしまった。友達の□□を気づかう。

できるだけ人の□□を聞く。悪い行いを□□する。

自然の□□がそのままもっているような湖。□□みつの基地。

おかの□□に白い建物がある。□□の底から気合いをかけた。赤ちゃんが□□をうったえる。

□□してねむれない。全身の勇気を□□起こした。□□の末、三対〇で勝った。

いちよう□□を歩く。氏名□□びに年れいを書く。□□をそろえて行進する。

□□と皇后□□。

□□は午後三時の予定である。わしはくらはしを□□じた。ドアの□□は静かにしよう。

ふろしき包みを□□に下げたおばさん。□□のきつぷを買う。

才能の不足は努力で□□う。PTAが□□してくる。新人選手を入れて□□する。

卩	言	木	皿	一	一	木	木	心	一	言	一	一
郵	訳	模	盟	密	幕	枚	棒	忘	亡	訪	宝	暮
ユウ わけ	ヤク わけ	モ・ポ	メイ	ミツ	バク・マク	マイ	ボウ	わすれる	ボウ	たずねる ホウ	ホウ たから	くらす・くれる
一 二 三 五 五 垂 垂 垂 郵	一 二 三 三 言 言 言 言 言 記 訳 訳	一 十 才 木 木 木 木 木 木 模 模 模 模	一 口 日 日 明 明 明 明 明 明 盟	一 六 六 六 文 文 文 密 密 密	一 一 幕 幕 幕 幕 幕 幕	一 十 才 木 木 木 枚 枚 枚	一 十 才 木 木 木 棒 棒 棒 棒 棒	一 亡 亡 亡 忘 忘 忘	一 亡 亡	一 二 三 三 言 言 言 言 言 言 訪 訪	一 六 六 六 宝 宝 宝 宝	一 一 幕 幕 幕 幕 幕 暮
郵送 郵便	訳者 通訳 言 言 訳	模 型 規 模	連盟 同盟	秘密 厳密	幕府 第一幕	枚数 一枚	鉄棒 棒切れ	忘れ物	死亡 亡命	訪問 来訪	宝石 国宝 宝物	年の暮れ 夕暮れ

- 157 兄は都会で□^くらしている。□^{とし}の□^くれを伝える寺のかねが鳴る。□^{ゆうて}れまでに家へ帰る。
- 158 この建物は□^{こくほう}に指定されている。わたしの大事な□^{たからもの}。母に□^{ほうせき}をプレゼントする。
- 159 久しぶりに先生のお宅を□^{ぼうしもん}した。私は、よく外国を□^{たず}ねます。客の□^{らいほう}を知らせる。
- 160 馬車にひかれて□^{しほう}したピエール。外国から□^{ぼうめい}する。
- 161 宿題の□^{わす}れ□^{もの}が減った。
- 162 背たけほどある□^{てっぽう}。□^{ぼうき}れをふり回す。
- 163 写真を□^{いちまい}お届けします。写真の□^{まいすう}を調べる。
- 164 江戸□^{ばくふ}の大軍を相手に戦った。□^{だいいちまく}はリヤ王の宮でんの場だ。
- 165 決めた時間を□^{げんみつ}に守る。友達の□^{ひみつ}を守る。
- 166 □^{どうめい}して独立に協力する。国際□^{れんめい}に加入する。
- 167 大□^きな、ダムの開発計画。城の□^{もけい}を作る。
- 168 □^{つうやく}なして話しかけてきました。□^い□^{わけ}をしても仕方がない。本の□^{やくしき}の□^{こと}を知る。
- 169 □^{ゆうびん}切手も買えないことがあった。本の代金を□^{ゆうせう}□^{する}。

181 180 179 178 177 176 175 174 173 172 171 170

バレーボールで□□した。□□児童に選ばれた。

□□に通ったころの思い出。□□い孫に自まん話をして聞かせる祖父。□□を育てる。

新たな□□が燃え上がる。秋になると□□が出てくる。

開戦の□□には力つきて落城した。大雨の□□は川の水量が多い。

戦争で国中が大□□におちいった。かみの毛をふり□□す。都に□□が起こる。

かもはたがいに入り□□れて飛んだ。

□□の四角い建物が見えた。家庭科でゆで□□を調理した。

□□で金賞をもらった模型。本を□□する。

□□の空き地に電気店が建った。□□のある人。

人々の生活と権利を守る□□。□□を守って生活する。

□□列車を運転するほどの混雑ぶり。卒業式に父母も□□する。

□□で、貧しくても希望を失わない。詩を□□する。

平和についてみんなで□□した。新聞の□□を読む。